



平成23年度 研究テーマ

東京都環境科学研究所は、東京都の環境施策の展開に必要な科学的知見の提供等を目的に、東京都からの委託等に基づき、環境の改善・向上に資する幅広い調査研究を実施しています。

平成23年度の主要な研究テーマは、以下のとおりです。

1	自動車の環境対策の評価に関する研究	最新の大型ディーゼル車、ガソリン車、ハイブリッド車等の排出ガス測定、分析などを行い、自動車の環境対策の効果等に関する研究を実施しています。
2	マテリアルフローに関する研究	資源循環型社会を目指すため、レアメタル(希少金属)等の有用金属の組成分析や廃プラスチック類のリサイクル効率性に関する研究を行っています。
3	微小粒子状物質等対策の効率的な推進に関する総合的研究	大気中の微小粒子状物質(PM _{2.5})の削減対策に資するため、PM _{2.5} 中の有機粒子や硫酸塩の発生源の解明や、PM _{2.5} よりさらに小さいナノ粒子の測定法の検討やフィールド調査に取り組んでいます。
4	光化学オキシダント対策の効率的な推進に関する研究	光化学オキシダントの原因物質である揮発性有機化合物(VOC)について、成分ごとの寄与割合や窒素酸化物(NOx)との関係を調べています。
5	有害化学物質の分析法・環境実態に関する研究	環境中に残留したり生物の体内に蓄積することが懸念される有害性の高い化学物質の分析法を検討します。また、それらの環境中の濃度を調査しています。
6	土壌等におけるダイオキシン類の評価手法に関する研究	ダイオキシン類による汚染の発生について、その成分の詳細な分析や、環境中での成分の変化を把握し、汚染の原因やその発生メカニズムを調査しています。
7	生物生息環境・自然浄化機能に関する調査研究	東京湾の水環境改善対策の一環として、沿岸部の生物生息環境、自然浄化機能に関する調査研究を行っています。
8	緑によるヒートアイランド対策調査	都市の緑によるヒートアイランド現象の緩和効果について研究を行っています。
9	東京都におけるヒートアイランド現象等の合理的な情報収集及び発信に関する研究	ヒートアイランド現象やゲリラ豪雨等極端な気象現象による都市への影響を適確に把握し、効果的な対策を講じるため、気象情報の合理的な収集及び発信に関する研究を行っています。
10	コケ等による屋上緑化の気候緩和効果に関する研究	ローコスト・ローメンテナンスな屋上緑化として、近年普及が進んでいるコケ等の軽量薄層型屋上緑化による気候緩和効果を研究しています。



外部研究評価委員会

東京都環境科学研究所外部研究評価委員会を平成23年5月19日(木)に開催しました。当委員会は、環境に関する専門家5名で構成され、当研究所が実施する研究について、ご意見やアドバイスを頂き、研究員がより良い研究を進めるためのものです。評価は、「事前評価」、「中間評価」及び「事後評価」の3段階で行われます。

今回は、平成22年度に実施した研究のうち、終了研究3件の研究結果の事後評価と、継続研究4件の研究結果の中間評価を行いました。

平成22年度に終了した「有害化学物質の分析法・環境実態に関する研究」では、『有害化学物質に対する関心が高まる中で、PFOS、PFOA等の有機フッ素化合物に注目が集まっており、それに対して新たな知見を提供する研究として、社会的貢献度が高い。』『蓄積したデータの利用方法を考えながらさらに継続的な発展を期待する。』などの意見をいただきました。

評価結果は、研究所ホームページに掲載しています。

<http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/i>